寺田駅前まちづくりニュース

平成２１年　４月　号外　　【発行】寺田駅前まちづくり協議会

速　報

寺田駅前の手づくり 鯉のぼり が話題になっています！

恋のぼり

４月１５日（水）寺田駅前ほっこりゾーンの空に鯉のぼりを掲げました。今年の鯉のぼりは協議会会員の手づくりによるもので、制作期間は構想を含めて１ヶ月。「寺田駅を利用する方に鯉のぼりを見て、ホッとしていただきたい」という思いで予算の無い中、知恵を出し合い、ビニールのゴミ袋と地場産業の金銀糸の提供を受け、原価３６５円で素晴らしい鯉のぼりが完成しました。

鯉のぼりは５月末まで泳いでいます。一味違った寺田駅前鯉のぼりをお楽しみください。

制作：寺田駅前まちづくり協議会・青年部

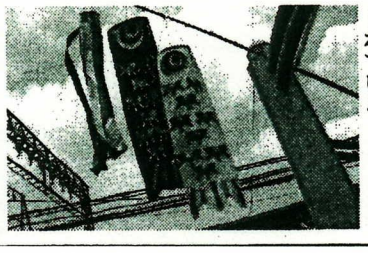
（奥田・山本・冨田）

～ 新聞でも話題になっています ～

寺田駅西口の鯉のぼり話題に

端午の節句を前に、城陽市の寺田まちづくり協議会（満田忠雄会長）は予算をかけずに近鉄寺田駅西口を利用する乗降客に、季節の風情を楽しんでもらおうと手作りの鯉のぼりを掲げ、話題を呼んでいる。

構想から1カ月、わずか360円の費用で仕上げた一味違う「寺田駅前鯉のぼり」は白と黒色のビニール性のごみ袋を活用し、市内で地場産業である金銀糸加工業を営む人から目やうろこを付けるための材料をもらい受け、同協議会青年部が中心となって手作りで仕上げた。竹に結び付けられて駅西口の「ほっこりゾーン」に掲げられたユニークな鯉のぼりは、風に吹かれて元気に泳ぎ、小さな子供から高齢者まで幅広い年齢層の市民から可愛がられている。

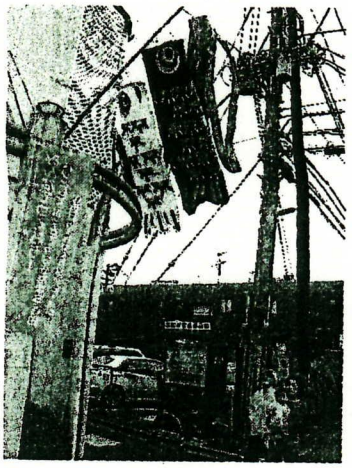


城南新報　平成21年4月19日朝刊

手作りこいのぼり色鮮やか　近鉄寺田駅西口

城陽市寺田の近鉄寺田駅西口に、手作りの色鮮やかなこいのぼりが掲げられ、優雅な姿に通勤客らも足を止め見入っている＝写真。

制作したのは、同駅周辺の住民らでつくる「寺田駅前まちづくり協議会」のメンバーたち。三月から「お金をかけずにこいのぼりを作ろう」と、ビニール製のごみ袋二枚を重ねて全長約一・二㍍の筒状のこいのぼり二匹を作り、メンバーの知り合いから提供を受けた地場産業の金糸銀糸で目やうろこを飾った。制作費はわずか三百六十円だった。竹の棒に結びつけられたこいのぼりは高さ約五㍍に掲げられ、春風を受けて優雅に泳いでいる。



同会は「きれいで明るい街づくり」を目指し、ごみ拾いや冬の駅前ライトアップなどに取り組んでいる。満田忠雄会長（71）は「忙しく働く人たちに、少しでも季節の風情を感じてもらえたら」と話している。こいのぼりは五月末まで掲げるという。

（菅野誠二）

京都新聞　平成21年4月21日朝刊